

2018年6月27日

三井化学株式会社

暗闇の中で空間を知覚する服の体験型展示「echo」に アブソートマー®で素材協力しています

～センサを内蔵したウェアで空間を認識する、新しい空間知覚実験に協力～

三井化学が開発した制振性、応力緩和性に優れ独特な触感を持つ新素材「アブソートマー®」が、2018年7月5日(木)～8日(日)まで日本科学未来館（東京都江東区）で開催の「echo」展で発表される、暗闇の中で空間を知覚する「エコーウェア」に採用されました。



echo 展は、暗闇で目以外の感覚を使って楽しむソーシャルエンターテインメント「[ダイアログ・イン・ザ・ダーク](#)」、技術と表現の新しい可能性を探求するアーティスト、エンジニアらによる集団「[ライゾマティクスリサーチ](#)」、ファッションとテクノロジーを融合させた次世代ファッションの世界的ブランド「[アンリアルレイジ](#)」によるコラボレーションプロジェクトです。[株式会社 Xenoma](#) の世界最先端の Printed Circuit Fabric 技術を用いて、ライゾマティクスリサーチが開発した暗闇でも空間を認識できるセンサを内蔵した服を製作し、世界で初めてのインсталレーション展示を行います。服自体が信号を発生し、センサで距離を捉え、その距離を振動として感覚的に返すことで、空間の認識を可能としました。光を受け取ることで空間を認識する「目」とは異なる感覚で、これまでにない新しい空間の知覚方法を体感できるインсталレーションとなります。

今回、三井化学は、[明和グラビア株式会社](#)（大阪府東大阪市、代表取締役社長：大島規弘）のモールドプリント技術でメッシュ状に加工したアブソートマー®を「echo」プロジェクトに素材提案し、体温で軟質化して徐々に身体にフィットしていくことで振動を感じることができる新しい質感の生地として、アンリアルレイジと共に新しい皮膚感覚を生み出す挑戦を行いました。



■「Echo」開催概要 (<https://research.rhizomatiks.com/s/works/echo/>)

会期：2018年7月5日（木）～8日（日）【4日間】

7月5日（木）、6日（金） 16：00～21：00

7月7日（土）、8日（日） 12：00～21：00

会場：日本科学未来館 7階イノベーションホール（東京都江東区青海2丁目3番6号）

体験は予約制となりますので、[展示公式サイト](#)よりお申込みください。

■ [アブソートマー®](#)とは

三井化学が培ってきた触媒技術を用いてナノレベルで分子構造を最適化したオレフィン系新素材です。

これまでに無いような独特で特徴ある触感を実現しました。温度によってその感触が変化する点が特徴で、低温時は硬くなりその形状を保持しますが、温めるとしなやかな感触に変化します。成形時に各種素材へ添加すると応力緩和（締付け感低減）や追従性（凸凹に密着）などの機能を付与でき、ユニークな製品開発に貢献します。

<本件に関するお問合せ>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部（TEL：03-6253-2100）